

総務教育常任委員会資料

(平成22年6月1日)

【 件 名 】

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 県立高等特別支援学校の設置場所について（特別支援教育課） | 1 |
| 2 | 登録記念物の新登録及び史跡の追加指定について（文化財課） | 3 |
| 3 | 「小学生のスポーツ活動実態調査」について（スポーツ健康教育課） | 5 |
| 4 | 学校給食における県内産食材の使用状況及び取組について
（スポーツ健康教育課） | 8 |

教 育 委 員 会

県立高等特別支援学校の設置場所について

平成22年6月1日
特別支援教育課

県立高等特別支援学校の設置に向けた大枠の方針について、パブリックコメント及び電子参画アンケートを行った結果は以下のとおりでした。

これを受けて、県教育委員会では、6月議会閉会後の定例教育委員会において、県立高等特別支援学校の設置場所を旧赤碕高校跡地に決定したいと考えています。

1 大枠の方針 <平成22年2月9日教育委員会協議、2月19日常任委員会報告>

県立高等特別支援学校とし、早急に1校設置する方向で検討を行う。

- 設置場所：中部圏域（旧赤碕高校跡地）が望ましいと考える。
自宅通学が困難な生徒のために寄宿舍の設置が必要と考える。
- 設置規模：1学級（8名）×4～5学級×3学年、計12～15学級が適当と考える。
- 開校時期：平成25年度を目標とする。

2 パブリックコメント及び電子参画アンケートの結果 <平成22年4～5月実施>

開校時期についてもっと早くとの意見があったほかは、設置場所、設置規模ともに概ね賛成・妥当との意見（回答者総数：239名（パブリックコメント14、電子参画アンケート229））

- 設置場所：賛成又は妥当であるという意見が約75%。
寄宿舍の設置についても約77%が賛成。
- 設置規模：適当であるとの意見が約49%、分からない等の意見がその次に多い。
- 開校時期：妥当とする意見が約38%で最も多いが、早期設置を求める意見も多い。

※保護者説明会時の参加者アンケートの結果においても、回答者の約74%が大枠の方針の内容に賛成 <平成22年4月21日常任委員会報告>

【今後の検討事項】

(1) 寄宿舍の設置

寄宿舍を設置する方向で検討を進める。今後行う保護者への意向調査の結果を参考に規模等を検討し、決定する。また、民家等への下宿の可能性も検討する。

(2) 設置規模

具体的な学級数は、保護者への意向調査の結果を参考にして決定する。

(3) 開校時期

施設整備に関する調査（耐震診断、補強計画作成）の結果等を踏まえて決定する。（同調査や耐震・改修工事に時間を要する期間を踏まえ、最短で平成25年度の開校を目標とする。）

【経緯及び今後の取組】

(1) これまでの経緯

平成20年11月	鳥取県教育審議会「鳥取県における今後の特別支援学校のあり方」(答申)
平成21年5月	「特別支援学校における教育の在り方検討委員会」設置
平成22年2月	設置に向けた大枠の方針を決定(県教育委員会)し、常任委員会に報告
平成22年3月	設置に向けた大枠の方針について、保護者等に対する説明会を開催
平成22年4月	第1回県立高等特別支援学校設置準備委員会を開催
平成22年4～5月	パブリックコメント及び電子参画アンケートを実施

(2) 今後の取組

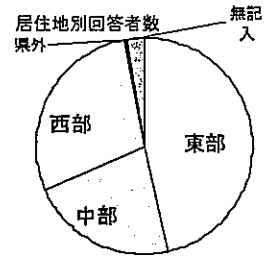
- ・寄宿舍の設置や規模について、対象となる保護者に対して意向調査を実施(6月)
- ・学校長、保護者代表、関係団体等で構成する県立高等特別支援学校設置準備委員会で、設置規模、設置学科、教育課程、施設・設備等の内容について検討(～8月(予定))

県立高等特別支援学校に関する 電子参画アンケート及びパブリックコメントの結果について

1 回答者

		回答者数
パブリックコメント	14名	合計
電子参画アンケート	会員214名、一般11名	239名

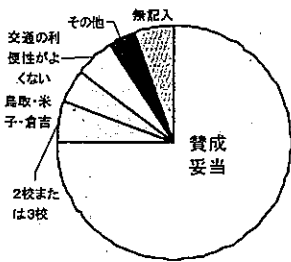
※質問内容はどちらも同じ



2 高等特別支援学校の認識と県の設置準備について

- (1) 他都道府県に、知的障がいの軽い生徒を対象とした就職をめざす高等特別支援学校があることを知っていた回答者は、23.4%であった。
- (2) 鳥取県教育委員会が県立高等特別支援学校設置にむけて準備・調査を行っていることについて知っていたという回答者は、22.6%であった。

3 設置場所について



旧赤碕高校跡地に既存校舎を活用して設置することについて、74.9%の回答者が賛成である、妥当であるという意見であった。

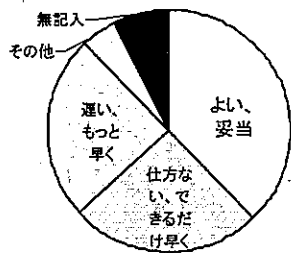
＜賛成である主な意見＞

- ・県中部で駅から近く妥当である。
- ・地理、施設等からも最適であると思う。

＜その他の意見＞

- ・東部、西部も含めた3地域に設置すべきだ。(5.9%)
- ・未利用施設の活用はよいが、利便性が悪い。(5.4%)
- ・鳥取（または米子、倉吉）がよい。(4.6%)

4 開校時期について

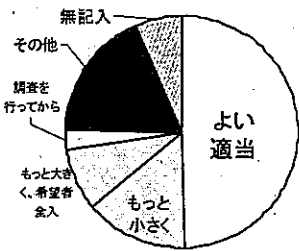


「よい、妥当である」という意見(37.7%)が最も多いが、「仕方ないができるだけ早く」という意見(25.5%)、「遅いのもっと早く」という意見(24.7%)も多く、肯定的な意見と早期設置を求める意見が拮抗している。

＜主な意見＞

- ・準備期間が必要なら仕方がない。
- ・もっと早くできないのか、開校までも対象となり得る生徒はいる。
- ・1年でできる。行政は連携が遅すぎる。

5 学校規模について



「よい、適当である」という意見(49.4%)が最も多かったが、「わからない」「臨機応変に」等の「その他」の意見(18.4%)が次に続いた。

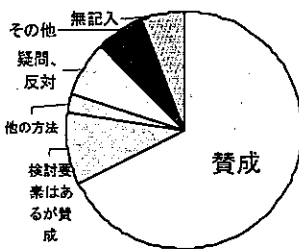
＜規模を小さくという意見＞14.6%

- ・一人の教師が目届く範囲を考えるともう少し少ない方がよい。
- ・生徒一人一人への対応や教師側の負担を考えると、もう少し少ない方がよい。
- ・1学年40名は多い。

＜規模を大きくという意見＞8.4%

- ・希望者全入という考えから定員増が望ましい。
- ・対象となる児童生徒は年々増えているように思う。

6 寄宿舎について



「必要」という意見(67.4%)と、「検討要素はあるが賛成」という意見(10.0%)を合わせると、ほぼ8割の人が寄宿舎の設置に賛成している。

＜賛成の主な意見＞

- ・本人の生活面での自立などでも期待できる環境だと思う。
- ・東部からでは遠くなるのでぜひ必要だと思う。

＜疑問・反対という意見＞7.5%

- ・安易に寄宿舎を設置すれば、保護者の負担増や公費の支出増となる。
- ・通学利便性で中部に設置することなので寄宿舎は不要。
- ・軽度でも障がいのある子どもに寄宿舎での集団生活は不安。

＜その他の意見＞

- ・近くのアパート等を借り上げることはできないか。
- ・グループホームのような少人数の宿舎が良いと思う。

登録記念物の新登録及び史跡の追加指定について

平成22年6月1日
文化財課

平成22年5月21日に、国の文化審議会から文部科学大臣に下記の文化財を登録記念物・史跡として新登録・追加指定するよう答申されました。

記

1 国登録記念物（名勝地）に新登録

小川氏庭園（おがわしていえん） 倉吉市河原町

河原町で代々酒造業を中心に営む小川家の庭園である。

庭園は河原町通りに面した「前庭」、主屋と土蔵の間の「中庭」、鉢屋川沿いの別区画の「環翠園」の三区画から構成される。特に環翠園は亀島が浮かぶ園池を中心に、2つの茶室（1つは現存せず）を備えた和風を基調とした庭園でありながら、高く聳える赤煉瓦の煙突を景物に取り入れて、近代の象徴的な人工物が効果的に使われている。こうした小川氏庭園は、近代の山陰地方における造園文化に与えた影響は大きく、貴重な存在といえる。



小川氏庭園（環翠園）

〈参考〉鳥取県の国登録文化財の内訳（今回の登録含む）

	国登録有形文化財	国登録有形民俗文化財	国登録記念物	国登録文化財総数
県内	147	1	2	150
うち倉吉市	30	0	1	31

2 国史跡に追加指定

青谷上寺地遺跡（あおやかみじちいせき） 鳥取市青谷町

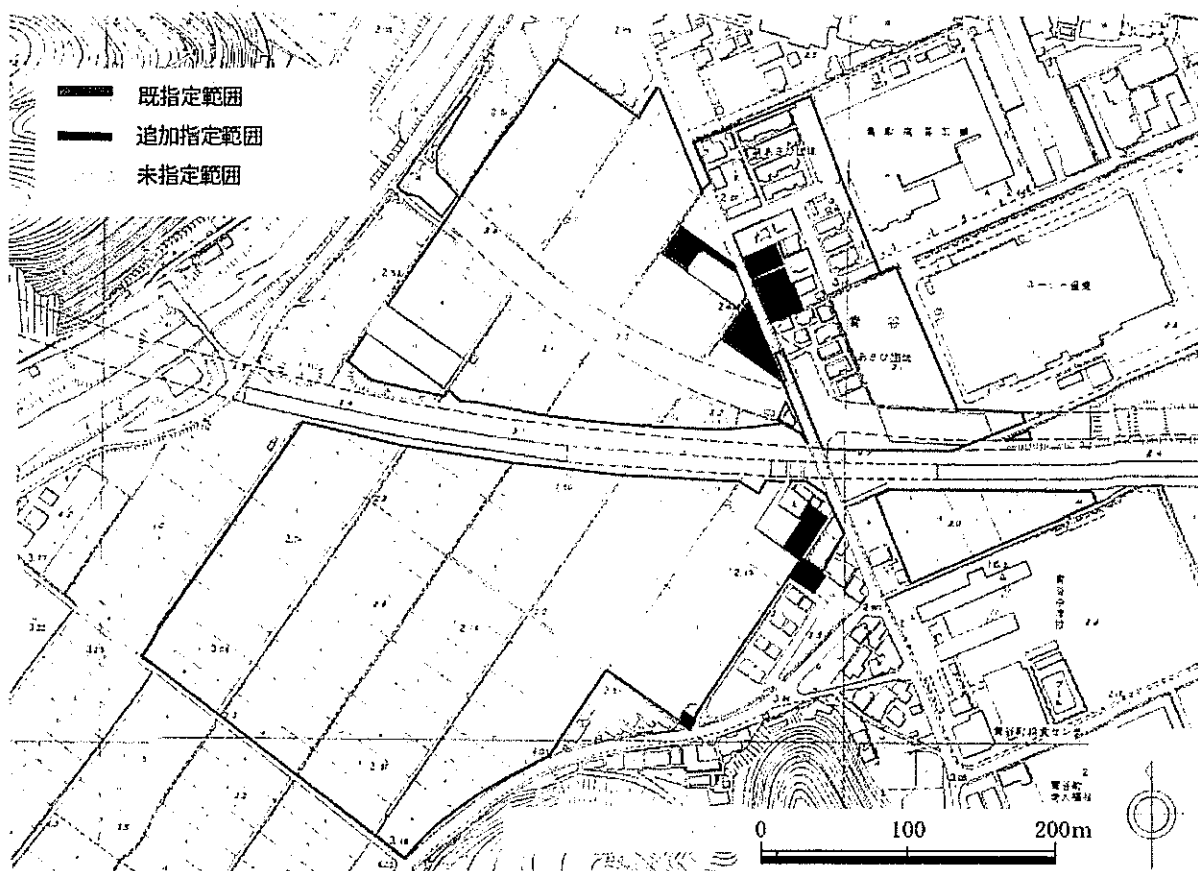
鳥取市青谷町に位置する弥生時代の集落跡。この遺跡からは木器・骨角器・獣骨等や鉄器・青銅器等、多種多様な遺物が大量に出土し、弥生時代の社会を知る上で極めて重要であるため、平成20年3月に史跡指定された。

今回は、居住域や水田域の一部を追加指定する旨の答申がされたもの。

(参考) 青谷上寺地遺跡史跡指定地関係の面積

史跡想定面積	14.64ha
既指定面積（H20年3月）	13.99ha
追加指定面積（今回）	0.32ha
未指定面積	0.33ha

青谷上寺地遺跡史跡指定等の対象地域の範囲を示す地形図



「小学生のスポーツ活動実態調査」について

平成22年6月1日
 スポーツ健康教育課

1 調査の目的

県内小学生のスポーツ活動の実態を把握し、望ましい小学生のスポーツ活動を実践するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査概要

(1) 調査項目

- スポーツクラブの活動状況
- 所属している児童の様子
- 指導者の状況
- 小学校との連携等

(2) 調査実施期間 平成21年12月21日～平成22年1月25日

(3) 調査対象と回収状況

・予備調査で把握した小学生スポーツクラブの指導者・保護者、スポーツクラブに所属している児童がいる小学校を対象に、市町村教育委員会を通じてアンケートによる調査を実施

調査対象	対象数	回答数	回収率
小学生スポーツクラブの指導者	608人	484人	79.6%
同 保護者	608人	537人	88.3%
在校生がスポーツクラブに所属している小学校	136校	124校	91.2%

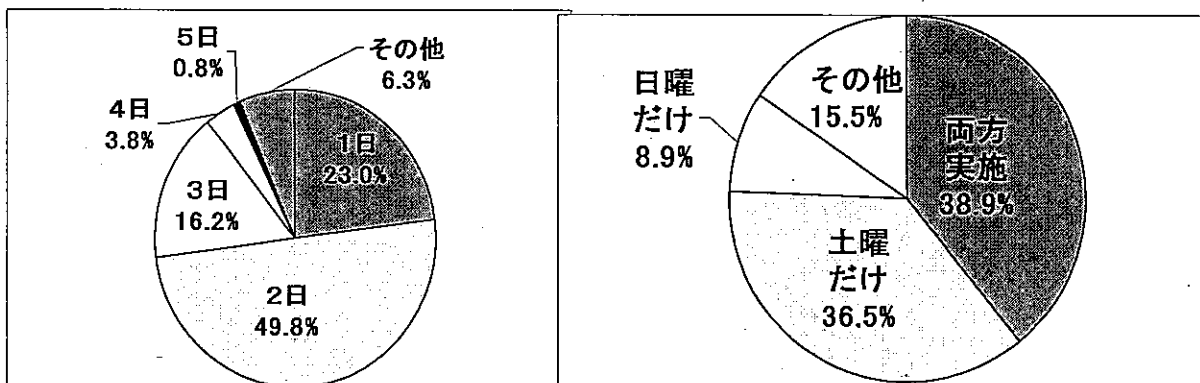
(4) 調査結果（詳細は別添のとおり）

3 調査結果の概要

(1) スポーツクラブの活動状況について

【平日の活動日数：指導者回答】

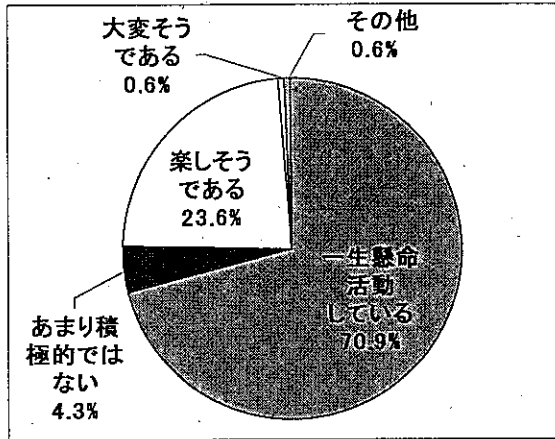
【土日の活動日数：指導者回答】



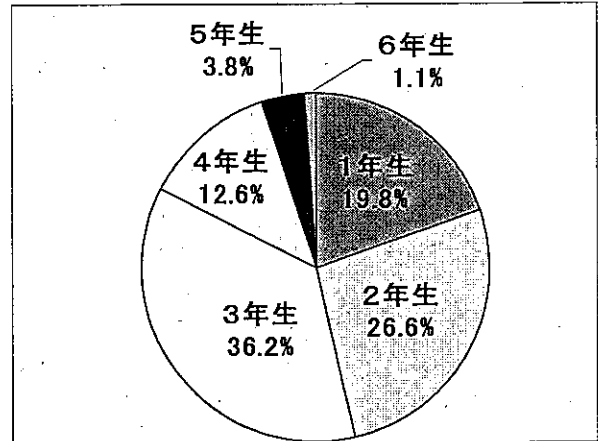
平日に2日活動しているクラブが約5割で最も多く、3日以上も約2割と多い。また、土日両方活動しているクラブが約4割であり、全体的に活動日数が多い。

(2) 所属している児童の様子

【活動の様子：保護者回答】



【活動を始めた学年：保護者回答】

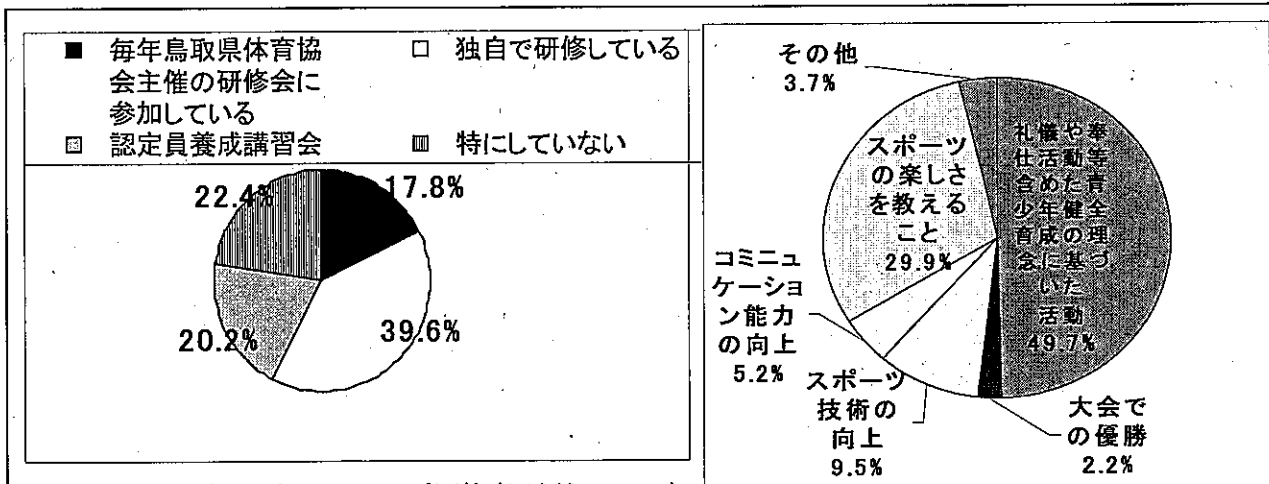


児童の様子は、一生懸命であり、楽しそうであるが、1・2年生から活動を始めている児童が約46%あり、発達段階に応じた指導が必要である。

(3) 指導者の状況

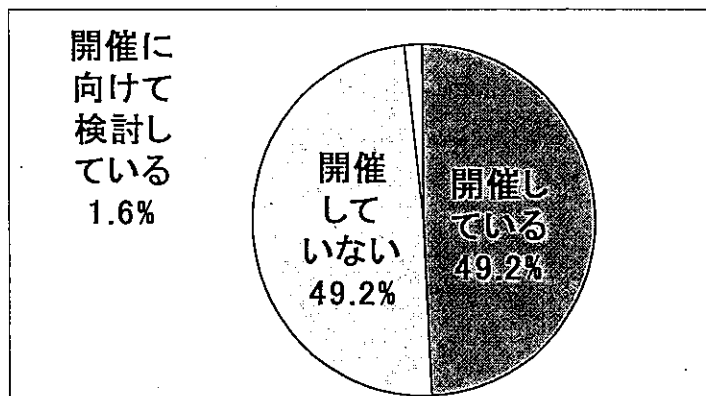
【研修の状況：指導者回答】

【子どもに求めていること：指導者回答】



定期的に研修を受けている指導者が約57%いるが、一方で、1回受けただけであったり、特に研修していない指導者が約43%いる。また、青少年の健全育成やスポーツの楽しさ、コミュニケーション能力の向上を主眼においた指導をする指導者が多いが、技術の向上や大会での優勝を目指す指導者も約1割いる。

(4) 小学校との連携 【小学校との連絡会の開催：小学校回答】



連絡会を開催しているクラブとしていないクラブが約半々である。

4 調査結果の課題と今後の対策

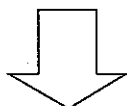
- (1) 小学校との連絡会が開催されていないスポーツクラブが多く、共通理解を図り活動が展開されることが必要である。
- (2) 県スポーツ振興審議会の活動日数等の指針（H12・3月）より多い活動日数のスポーツクラブが多く、体力的に無理のない程度の活動日数等になるよう啓発や周知を図る必要がある。

【小学生スポーツ活動日数・活動時間の指針】

活動日数：多くても週3～4日

活動時間：平日は2時間を超えない程度、休業日は3時間を超えない程度

- (3) 小学校1・2年生からスポーツクラブに入っている児童も多く、発達段階に応じた指導ができる指導者が必要である。
- (4) 定期的に資質向上のための研修会に参加していない指導者も多く、指導者を啓発し研修会への参加を促進することが必要である。



【新規】 小学生スポーツ指導者講習会の開催

内容：青少年育成の理念や運動スポーツに関する基本的な知識、子どもの発達特性にあった指導方法等

会場：東部・中部・西部の3会場各1回

教育審議会生涯学習分科会での提言の周知・啓発

・調査の結果を審議し、必要な提言等をまとめ、周知・啓発を図る

学校給食における県内産食材の使用状況及び取組について

平成22年6月1日
スポーツ健康教育課

1 県内産食材使用率の推移

- 平成13年度から伸びてきている県内食材の使用率が、平成21年度は57%となった。
(市町村ごと、品目ごとの状況は、別添資料のとおり)

【県平均】

年 度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
使用率	37%	41%	47%	49%	50%	53%	54%	54%	57%

[知事マニフェスト 平成22年度：60%]

2 平成21年度の取組

- 栄養教諭・学校栄養職員の研修会等で県内産食材を使用した献立作成の働きかけ
- 市町村、学校給食関係者、JA、生産者団体、農林水産部等と地産地消推進について意見交換会（地産地消推進会議）を実施
- 学校栄養士協議会へ「食育月間」「県民の日」「全国学校給食週間」の取り組み等を働きかけ
- 鳥取県学校給食会に委託して実施した学校給食フォーラムで県内産食材の啓発
- 県内産食材の使用率が低い市町村へ働きかけ（農林水産部局等との連携）
- 全国食育推進交流シンポジウムの誘致と開催
- 財団法人鳥取県学校給食会を中心として、これまで農畜産物や水産物などの県内産食材を使用した商品を開発。冷凍野菜などの商品開発では、引き続き協力を行う。

	学校給食用に開発した商品
平成18年度 まで	乾燥しいたけ、鳥取県産らっきょう、鳥取県産丸大豆濃口醤油、鳥取県産おかわりくん使用発芽玄米、境港産煮干し、県産大豆使用こおげ味噌、県産赤いか短冊、赤いか団子、県産有頭干しハタ、生乳ヨーグルト、梨シャーベット、荒挽きポークウィンナーなど
平成19年度～ 20年度	冷凍モロヘイヤ、冷凍ブロッコリー、冷凍にんじん、冷凍ほうれん草カット、たけのこ水煮、さわら切り身、さわら味りん干し、薄味オール豆、サッポロ豆
平成21年度	水煮大豆、冷凍わかめ、冷凍さといも

3 課 題

- 大規模調理場では、必要な食材がそろわない
(生産農家の確保及び拡大。食材の計画的安定供給の構築が必要)
- 食材の流通体制が十分整っていない
- 県内産食材の中には価格が高いものもある
- 県内産食材を一次加工する施設が少ない

4 今年度の主な取組

- 学校給食県内産食材活用推進コーディネーターを県学校給食会に1名配置
(JA等関係機関との連絡調整、需要と供給の課題解決に向けた方策の検討及び市町村への働きかけ など)
- 地産地消率向上のための市町村の取り組みに対し助成
- 地産地消推進について、栄養教諭、学校栄養職員との意見交換会の実施
- 栄養教諭、学校栄養職員を対象に県内産食材を使用した調理講習会の実施
- 関係機関等による地産地消推進会議の開催（年2回）

(様式1)

平成21年度 学校給食用食材の生産地別使用状況調査(市町村別)

米、麦、牛乳を除く主な使用食材44品目の使用実態を使用重量の割合でまとめたものである。平成21年度年間集計

市町村	県内産		国内産		外国産		合計	
	使用量 (kg)	使用比率 (%)	使用量 (kg)	使用比率 (%)	使用量 (kg)	使用比率 (%)	使用量 (kg)	
鳥取市	旧鳥取市	107,613	33%	193,229	59%	25,659	8%	326,501
	国府	20,671	70%	7,450	25%	1,317	4%	29,438
	河原	24,228	79%	6,303	20%	300	1%	30,831
	佐治	3,499	63%	1,997	36%	36	1%	5,532
	気高	17,756	73%	5,849	24%	856	4%	24,461
	鹿野	9,257	76%	2,754	23%	107	1%	12,118
	青谷	10,309	58%	6,207	35%	1,332	7%	17,848
	合計	193,332	43%	223,789	50%	29,607	7%	446,729
米子市		124,920	60%	78,261	37%	5,990	3%	209,171
倉吉市		74,544	54%	55,111	40%	7,638	6%	137,292
境港市		30,276	53%	23,777	42%	2,736	5%	56,789
八頭町	郡家	21,674	78%	5,313	19%	745	3%	27,732
	船岡	8,266	79%	2,054	20%	99	1%	10,419
	八東	8,509	82%	1,612	16%	243	2%	10,364
	合計	38,450	79%	8,979	19%	1,087	2%	48,515
智頭町		12,018	63%	6,539	34%	418	2%	18,975
岩美町		23,254	72%	9,179	28%	84	0%	32,517
若桜町		5,923	75%	1,762	22%	257	3%	7,942
湯梨浜町	羽合	39,579	68%	15,847	27%	2,877	5%	58,303
	泊	2,839	54%	2,167	41%	266	5%	5,272
	東郷	12,481	64%	6,345	33%	642	3%	19,467
	合計	54,899	66%	24,359	29%	3,785	5%	83,042
三朝町		15,382	84%	2,763	15%	265	1%	18,410
北栄町	北条	17,125	78%	4,392	20%	405	2%	21,922
	大栄	11,724	64%	5,703	31%	808	4%	18,236
	合計	28,850	72%	10,095	25%	1,213	3%	40,158
琴浦町		37,663	68%	15,492	28%	2,091	4%	55,246
大山町	中山	6,395	56%	4,996	44%	73	1%	11,464
	名和	10,089	65%	5,006	32%	352	2%	15,447
	大山	10,008	68%	4,407	30%	255	2%	14,670
	合計	26,492	64%	14,409	35%	680	2%	41,580
日吉津村		3,806	75%	1,241	24%	25	1%	5,072
伯耆町		19,391	69%	8,680	31%	97	0%	28,168
南部町	西伯	14,766	66%	7,352	33%	112	1%	22,230
	会見	7,195	68%	3,273	31%	147	1%	10,616
	合計	21,961	67%	10,625	32%	259	1%	32,846
江府町		4,761	64%	2,568	34%	138	2%	7,467
日野町		5,151	70%	2,112	29%	93	1%	7,356
日南町		7,194	67%	2,750	26%	748	7%	10,692
総合計		728,266	57%	502,490	39%	57,211	4%	1,287,967

※個々のデータを四捨五入で入力しているため、合計が100%にならない場合や合計値に若干誤差が生じる場合があります。

平成21年度 学校給食用食材の生産地別使用状況調査(食材別)

平成21年度年間集計

区分	県内産		国内産		外国産		計	
	使用量(kg)	使用比率(%)	使用量(kg)	使用比率(%)	使用量(kg)	使用比率(%)	使用量(kg)	
野菜類等	大根	39,056	73%	14,523	27%	0	0%	53,579
	にんじん	48,461	44%	60,929	56%	0	0%	109,390
	白菜	31,986	55%	26,055	45%	0	0%	58,041
	キャベツ	70,690	51%	66,787	49%	0	0%	137,478
	ほうれん草	19,574	70%	8,305	30%	0	0%	27,879
	ネギ	10,423	68%	4,939	32%	0	0%	15,362
	白ネギ	23,820	98%	416	2%	0	0%	24,235
	きゅうり	32,912	65%	18,056	35%	0	0%	50,967
	トマト	4,674	81%	1,067	18%	46	1%	5,787
	じゃがいも	25,096	25%	75,631	75%	0	0%	100,726
	さといも	8,524	39%	13,517	61%	0	0%	22,041
	さつまいも	17,841	90%	1,915	10%	0	0%	19,756
	たまねぎ	84,814	40%	124,731	60%	0	0%	209,545
	かぼちゃ	5,304	42%	7,082	56%	309	2%	12,694
	ブロッコリー	14,716	75%	2,313	12%	2,713	14%	19,742
	ながいも	4,174	91%	366	8%	32	1%	4,572
	たけのこ	1,862	16%	8,908	78%	679	6%	11,448
	小計	443,926	50%	435,538	49%	3,778	0%	883,243
果物	りんご	2,584	19%	11,211	81%	0	0%	13,794
	なし	7,856	100%	33	0%	0	0%	7,889
	柿	5,462	97%	152	3%	0	0%	5,614
	ぶどう	428	74%	153	26%	0	0%	581
	みかん	177	1%	16,538	99%	63	0%	16,778
	メロン	2,849	98%	59	2%	0	0%	2,908
	いちご	809	55%	558	38%	110	7%	1,477
	小計	20,165	41%	28,703	59%	173	0%	49,041
魚介類	トビウオ	1,922	82%	431	18%	0	0%	2,353
	カレイ	5,754	87%	689	10%	152	2%	6,595
	イカ	3,781	28%	5,225	38%	4,572	34%	13,578
	アジ	5,172	65%	936	12%	1,900	24%	8,008
	白ハタ	5,339	98%	82	2%	8	0%	5,429
	小計	21,968	61%	7,364	20%	6,632	18%	35,963
豆類	大豆	2,557	38%	4,096	62%	0	0%	6,652
	豆腐	37,998	76%	3,405	7%	8,726	17%	50,128
	油揚げ	1,641	22%	736	10%	5,252	69%	7,628
	みそ	14,763	70%	236	1%	6,056	29%	21,055
	おから	766	38%	351	17%	919	45%	2,036
	小計	57,724	66%	8,823	10%	20,953	24%	87,499
食肉類	牛肉(含ミンチ)	36,542	97%	1,117	3%	0	0%	37,659
	豚肉(含ミンチ)	40,626	98%	998	2%	0	0%	41,623
	鶏肉(含ミンチ)	60,022	88%	6,843	10%	1,040	2%	67,905
	小計	137,190	93%	8,957	6%	1,040	1%	147,187
キノコ類	えのき	8,992	58%	6,606	42%	0	0%	15,597
	しいたけ(生)	444	86%	72	14%	0	0%	515
	干し椎茸	1,365	100%	6	0%	0	0%	1,370
	なめこ	2,164	68%	1,009	32%	0	0%	3,173
	小計	12,964	63%	7,692	37%	0	0%	20,656
その他	鶏卵	20,892	94%	1,294	6%	0	0%	22,186
	煮干し	3,362	74%	1,190	26%	0	0%	4,552
	しょうゆ	10,076	27%	2,928	8%	24,635	65%	37,640
	小計	34,330	53%	5,412	8%	24,635	38%	64,377
合計	728,266	57%	502,490	39%	57,211	4%	1,287,967	

※個々のデータを四捨五入で入力しているため、合計が100%にならない場合や合計値に若干誤差が生じる場合があります。